

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 5日

事業所名 放課後デイサービスピース

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		その時の子供の状況に応じて、デイルーム・個室・園庭を利用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		出入口は、必要に応じて移動式のスロープを使用します。室内はバリアフリーになっており、必要な箇所に手すり等を設置しています。	現在、車いすの利用者がいません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートの結果を基に保護者の意向や要望を取り入れ、改善につなげています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		様々な研修に職員全員が参加出来るよう機会を確保している。	今後も職員の資質の向上を図るため、研修の機会を設けていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者に聞き取りをし、その内容について支援会議を行い、支援計画を作成しています。	支援計画作成後、子供に変化があった時は見直し、再度作成し保護者に伝えるようにしています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		今後必要であれば取り入れていきたいと思ひます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		子供達が自発的に活動出来るよう職員間で話し合い、プログラムを作成しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		その時の状況に応じ様々なプログラムを組み換えて、活動内容に取り入れています。	新しい活動を取り入れられるよう、情報収集していきたいと思ひます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		外出や音楽遊び、昼食作り等平日には取り組む事が出来ない活動を取り入れています。	これからも色々な活動や体験ができる機会を増やしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々の成長に合った活動を組み合わせて計画しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その日のスケジュールや役割分担を職員全員で打ち合わせしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		情報共有が必要な内容は必ず職員間で共有しながら、次の支援につなげています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日細かく日誌に記録をし、気になる点や支援についてその都度話合っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヵ月毎にモニタリングを行い計画の見直しをしています。	モニタリングの時期以外でも、その時の子供の状況や変化など、必要に応じて見直しを行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		必要に応じた活動を組み合わせて取り入れています。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校からの教育計画の内容を共有したり、学校の送迎時に先生と意見交換しています。必要に応じてメールや電話相談もしています。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/		現在医療的ケアが必要な児童の利用はありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	相談員を通じて情報共有しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	相談員や学校を通じて情報を提供していません。移行する事業所から要望がある時は対応させていただきます。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後も機会があれば積極的に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在は活動する機会がありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○	送迎時や連絡帳で子供の様子をお伝えしています。必要に応じて面談や電話相談、メールでの相談も行っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		ペアレントトレーニングについての研修があれば参加していきたいと思います。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○	契約時に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	保護者からの悩みや相談に対し、少しでも安心出来るよう一緒に考え、保護者と連携した支援を行っています。	話しやすい関係作りをしていきたいと思います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	毎年1回保護者会を開催していますが、都合が合わない方が多いため参加人数が少ない。	参加人数が少ないため、保護者会の内容をお便りに載せています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○	苦情があった場合、対応記録に記載し、職員間で原因究明と解決策を話し合っています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	定期的にお便りを発行しています。子供達の様子やその他の情報は、ホームページ・インスタグラムにて発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している		○	個人情報の管理には十分注意しています。個人情報に記載された書類は施錠できるキャビネットに保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○	個々に応じた方法で意思疎通を図っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在、行事に招待する等の取り組みは行っていません。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	6月と12月に年2回、避難訓練を行っています。	今後は職員会議で、図上訓練や設備等の安全確認も行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	虐待防止研修には必ず参加をし、全職員に周知しています。事業所内で年1回、職員に向けての虐待防止についてのアンケートを実施し、虐待防止に向けた取り組みを行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	興奮状態になった時や、怪我や事故につながりそうな場合は、保護者との話し合いのもと、刺激の少ない場所に誘導する等、安全確保を行っています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	/		食物アレルギーについては保護者に必ず確認をしています。現在は食物アレルギーのある子供の利用はありません。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	報告書に記録をし、今後の対策について職員間で検討し、改善に努めています。		